

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	17147
課題名	重症心身障害児者の気管切開術後カニューレ抜去条件の検討
研究期間	西暦 2017年11月 日 ～ 2018年12月31日
研究の対象	旭川医科大学小児科と北海道療育園で2013年～2017年の5年間に診療した重症心身障害児者のうち、気管切開術後の患者さん
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細： 年齢、身長、体重、基礎疾患等 ） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
外部への試料・情報提供	<input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内（提供先： ）（提供方法： ） <input checked="" type="checkbox"/> その他（提供元：北海道療育園）（提供方法：USBメモリーを用い、郵送にて提供を受ける）
研究組織	旭川医科大学小児科 田中亮介 北海道療育園 林 時仲
研究の意義、目的	<p>誤嚥性肺炎を繰り返す重症心身障害児者の患者さんでは、気管切開術、誤嚥防止手術が必要となることがありますが、気管切開術後に気管カニューレを継続的に使用した場合には、肉芽や気管腕頭動脈瘻などの合併症に注意する必要があります。可能であれば気管カニューレを装着しないほうが望ましいと考えられます。</p> <p>この研究は、重症児者の方における気管カニューレの抜去条件を明らかにすることを目的とします。気管カニューレ抜去条件が明らかになることによって、カニューレなしで過ごすことのできる患者さんの割合が増え、カニューレに関連する合併症を減少させ、多くの患者さんが安心して生活できるようになれば、と考えています。</p>
研究の方法	<p>患者さんの診療録を後方視的に調べ、解析項目を分析したいと考えております。</p> <p>解析項目としては、年齢、身長、体重、基礎疾患、気管切開術年齢、誤嚥防止術の有無と種類、カニューレ抜去年齢、人工呼吸器の有無、酸素投与の必要性、筋緊張の有無、側彎の有無、てんかんの有無、咳嗽反射の有無、これまでの肉芽等の合併症の有無、ケアする方（施設か在宅か）等を考えています。</p>
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申下さ</p>

い。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 旭川医科大学 小児科学講座
旭川医科大学 小児科 田中亮介（研究責任者）

email: ryot5p@asahikawa-med.ac.jp 電話番号: 0166-68-2481

研究代表者：

旭川医科大学 小児科 田中亮介